

【第四次】全国青年ボランティアセンター要項（宮城版）

第四次全国青年ボランティアセンターでは、被災者の生業と生活再建を一日でも早く取り戻すために、直面する要望に応えるとともに、被災者の生活実態調査を行い、生活改善に向けて行政への働きかけも行います。

交通や食事などでボランティア参加者が現地の負担にならないよう心がけることが大切です。参加を希望される方にも以下の参加要項を徹底し、心構えと準備をお願いしてください。

■活動期間 2012年4月17日（火）～5月6日（日）

■活動の概要

仮設住宅や在宅被災者の聞き取り、救援物資の整理やお届け、被災された住民の方の話し相手、その他、寄せられた要望に応える活動に取り組んでいきます。聞き取った声は、国会や地方自治体に要望書として届けます。民青同盟の相談相手である日本共産党と一緒にボランティア活動に取り組みます。

また、被災した当時のようすや「仕事がない」「家を建てる見通しが持てない」など実態を聞く中で、すぐには解決できない切実な実態も当然出てきます。センター開設期間中には活動交流時間を設けます。ボランティア活動中に感じたことや、困ったことがあれば、交流時間も活用し、よく相談し合うようにしてください。

■場所、アクセス

住所 宮城県登米市東和町米谷元町195-2

連絡先 電話とFAX 0220-42-2003

アクセス

三陸自動車道の登米東和インターチェンジを降りてすぐ。

JR東北本線・新田駅から宮城交通バスで、佐沼営業所経由、米谷病院下車。徒歩5分。

※ 現地での移動手段は車になるので、なるべく車で来てください。

■参加要項

▽申し込み方法

活動する前々日の午後5時までに人数、到着時刻、滞在期間、宿泊の有無、交通手段（車種など）を添付した申し込み用紙に明記し、上記の連絡先までFAXしてください。

※ 連絡なく来られた場合、受け入れられないことがあります。

▽宿泊

一軒家の民家をお借りし、一定数のふとんを用意しています。可能な方は寝袋を持参してください。なお、水光熱費、通信費として1泊目のみ500円をいただきます。

▽食事

ボランティア参加者自身で炊き出しをおこないますので、すすんでご協力ください。なお、食事代として、朝食・昼食は2食で200円、夕食は300円をいただきます。

▽入浴・洗濯

お風呂は付近の入浴施設を利用し、1回500円かかります。洗濯は、宿に洗濯機が一台あります。

▽移動手段

現地での移動手段は車になるので、なるべく車で乗り合わせてきてください。あらかじめ点検や整備をし、被災地で車両トラブルにならないようにしましょう。

▽持ち物

雨具、帽子、動きやすく汚れてもいい服装・着替え、水筒、懐中電灯、タオル、洗面用具、健康保険証、筆記用具、携帯電話と充電器、常備薬、耳栓、可能なら寝袋・携帯ラジオなど。持っている方は、安全靴、軍手、などもお願いします。現在、ガラスなども散乱する古民家を清掃する依頼が入っています。

※ センターの近くには、食料を販売している店舗がありますがコンビニなどはありません。持参できるものはなるべく用意してきてください。

▽ボランティア保険

ボランティア保険は、それぞれの地元で入ってきてください。各市町村役所に設置されている社会福祉協議会事務所やボランティアセンターなどで手続きができます。

以 上